

ク ロ ー バ ー

# Clover

VOL.29

2019年秋号



株式会社 さち コーポレーション  
グループホーム さち

## ホーム長のご挨拶



老後の趣味を持とうと考え着付け教室に通い始めて早半年。私は進歩なく、帯結びのいつもの所が分からなくて「先生分かりません！」を繰り返していた。

遅れて親友が9月からこの教室に通いだした。その彼女に一大イベントが来たのだ。昔務めていた会社の部活の親睦会だ。そこへ着物を着て行こうと。もし自分で出来なければ着付けの先生にお願いしようと考えていた。二人で先生にお願いをすると「用事があるからだめよ、あなたが教えてあげなさい。」と、さらりと私へ返されてしまった。私たちはその返事に啞然。進歩のない私が親友の大切なイベントに、着付けを教えるなんて…そんな大役ができるのか！

そしてその日から一週間の猛特訓が二人に課せられた。まるで学生時代の部活のように、私は「さー、いくわよ！」「はい！肘で抑えてその手は離さない！」親友も「はい先生！」と、いつの間にか私たちは師弟関係のようになっていた。

一週間経ち、何とか無事着付けの特訓が終わり、親友は親睦会会場へ。自信が無い彼女に「奮闘を祈る！」と送り出した。

会場では大勢の男性陣の中、紅一点。場に華やかさを添えられたらと思う。その後「着物を着て行ってやっぱり良かった。上機嫌で夜空を見上げながら歩いて帰宅したけど、着崩れ無かった。ありがとう」とのメールが届いた。親友との仲が着物の帯結びのように、より一層強く結ばれたようだ。

着付け騒動は先生や他の専門の方にお願ひすれば直ぐに解決することではあった。目標が課せられたことはきついが、先生の「あなたなら出来るわよ」その一言が私には強い励みとなり、短期集中してなんとか出来た。親友には「着付けは一度覚えると一生もんだからね」と励まし続けた。一緒にやり遂げた達成感。人間やはり何か目標を持ち学び、それによって頼ってくれる人がいて、何より私自身が誰かの為に役立っている事がとても心地よい励みとなり、生きている意義を見出すと感じた。これらの事はホームの利用者さん達にとっても同じことで「高齢で出来ない」から職員が何でも直ぐ手を出し、早く終わらせる片付作業にしてはいないか。その方の持った経験等を引き出し、やりがいある人生のお手伝いをすることがとても大事だと再認識された騒動であった。

## 研修レポート

応急手当指導員になるための応急手当普及員講習を消防署で受講してまいりました。  
1日8時間の講習を3日間連続で受講する長丁場でしたが、楽しく受講できました。

2015年改訂された指導者標準テキストを基に、現役の消防士の方が実地で身に着けたことや必要となるポイントについて学びました。また、現在の医学会からの要望や実際に検証された項目など、時代に合わせて変更された内容についても話を聞くことができました。

命の尊さや命をつなぐこと(救命の連鎖)等をしっかりと学んだうえで、事故や急変時などに居合わせた際に大切なこと、心臓マッサージの意義や必要性、AEDの使用やそれに伴う実施方法を疑似体験したり、ケガの応急手当などを他の受講者の方と一緒に実施しながら体験したりと、真剣に楽しく勉強することができました。

現在応急手当普及員として「普通救命講習Ⅰ」をグループホームで職員に指導をしています。応急手当の必要性をしっかりと感じてもらいながら、解りやすく楽しく受講してもらえるよう働きながら行う事は大変ですが、グループホームさちのスタッフが普通救命講習Ⅰの受講を完了し消防署に登録していただけるよう毎月実施しております。

豊田市内の小中学校ではすでに救命講習や入門コースが実施され、児童たちが修了書を与えられていますが、一般の方には中々普及されていない知識と技術である状況です。

多くの方に知っていただけるよう、さちのスタッフだけでなくご家族様も取得できるといいなと考えております。

8月から指導を開始し、10月現在11名のスタッフが登録を完了しています。今年の11月中にはさちのスタッフ全員が受講を終える事を目標に今後も講習会を行っていく予定です。



## あっちこっちそっち

このコーナーは、グループホームさちの活動をご報告いたします。

### 流しそうめん（8月）

8月下旬に流しそうめんを行いました。「流しそうめん」といえば夏の風物詩ですが、体験できる機会って意外と少ないんですよね。90代の利用者様からは「初めてだわ！90歳になってこんな経験ができるのは嬉しいね」とお喜びの声を頂きました。そうめんの他にもミカンやゼリーなども流れましたが皆さん器用にすくって召し上がられました。暑い時期でしたが「まだか、まだか」と楽しそうに箸を構えられ食欲増進にもつながったようでした♪



### 敬老会（9月）

9月15日に敬老会を開催いたしました。今回も、早川流やぐら太鼓の皆様をお迎えして素晴らしい太鼓演奏を披露して頂きました。小学生のみなさんの息の合った素晴らしい太鼓演奏で、演奏に合わせて体でリズムをとってみえる方や、涙を流して感動されてみえる方もみえました。利用者様も太鼓に触れ、たたく体験をされ良い思い出になったのではないのでしょうか。おやつでは、紅白饅頭と緑茶でホッと一息の時間を過ごしました。



### 日帰り旅行（10月）

毎年恒例の日帰り旅行、今年は岐阜県の「アクアト岐卓」へ行ってまいりました。当日は雨も心配されましたが館内にいる間は降る事もなく、無事全員で行く事ができました。館内では美味しい食事を頂き、かわいい魚などを見たり、ご自分の気に入ったものや、家族の皆様へお土産を買ったりと思い思いの時間を過ごされ楽しんでいただけたようです。

次はどこへ行きますでしょうか？来年へのお楽しみですね！



## さちのつばやき

ここでは、グループホームさちで聞こえたつばやきを少しずつご紹介します。

### マッサージ

職員による両足のマッサージを受けられた女性利用者 N さん。  
マッサージを受けながらじっとその様子を見て観察してみえました。  
職員が理由を尋ねると「ここでやってくれた後、家でどうやるのかな〜って」と言われました。真剣に職員の手の動きを観察され自分でも出来るようにと、やり方を覚えようとされている姿がみられました。後日再びマッサージを行っていた際もじっと職員の手の動きを観察されていた為「やってみますか?」と手を出すと「これか〜」と言われ職員の腕をさすって、揉んで下さいました。「上手ですね」と伝えると笑ってみえました。



### 育った環境

西山公園へ皆さんとお出かけをした帰り道「こんなの見つけたよ〜! あんたこれ知ってる?」とある物を職員の前へ。見ると姿綺麗なセミの抜け殻が!! 「帰って皆に見せよ〜♪どんな反応するかね〜」と無邪気な笑顔で仰る A さん。帰設し皆様にお見せすると「ようこんな綺麗な見つけたね〜! 昔はようその辺にあったね!!」と懐かしむ方や「何これ?! 初めて見た!」と驚かれる方と様々な反応がありました。そのままそれぞれ昔話をされ「田舎育ちと街育ちじゃ違うだね〜」と反応の違いに納得されたようでした。



### 拳母町時代のとよた

豊田市を知り尽くされた90代の農家の利用者様とドライブに出かけたときのこと。「僕が子供の頃は〇〇から拳母の駅(現豊田市駅)までこの道を自転車を通ったもんだよ。それがオート三輪になって、トヨエースになってねえ・・」 「こんなキレイに舗装されとらんもんで、車に載せた野菜を傷つけんようにゆっくり走ってねえ。あ〜懐かしいな」と目をキラキラさせて語る利用者様。拳母町時代の風景を思い浮かべながら運転した職員なのでした。



## 癒しの時間 Lesson26 マロンミルクティー

深まる秋とともに色づく街路樹が日に日に美しくなってきました。庭へ出て何するでもなく木々を眺めながらブランケットに包まり、あったかい飲み物をほっこり飲む幸せ…を日々妄想しながら過ごしております。

今回はそんな私の妄想が膨らみ生まれた、ほっくりマロンミルクティーのレシピを紹介させていただきます☆

<材料 カップ 2 杯分>

- ・紅茶葉 ティースプーン 2 杯
- ・牛乳 100 cc
- ・水 150 cc
- ・ホイップクリーム 40g
- ・マロンクリーム 80g

<作り方>

- ① 小鍋に水 150 ccを入れ火にかけます。沸騰したら紅茶葉を入れ、3 分程そのまま火にかけます。ふきこぼれず、ぐつぐつした状態をキープします。
- ② 3 分経ったら牛乳を①に入れ、沸騰直前まで温めます。鍋のふちにぐると泡が沸いてくるくらいです。
- ③ 茶こしで②をこし、マロンクリームを分量のうち 50g を加えて混ぜます。ホイップクリームに残りのマロンクリームを加え、よく混ぜ合わせます。
- ④ カップにミルクティーを注ぎ、③で混ぜ合わせたクリームを上に乗せて完成です。



マロンクリームを使うことでミルクティーにも溶けやすく、また甘さもあるのでお砂糖を入れなくてもちょうどいい甘さです。甘めがお好きな方はお好みでお砂糖を加えてくださいね。

使う茶葉はミルクティーに合うアッサムや、ミルクティーブレンド等が栗の味を邪魔しないのでおすすめです♪お好みで刻んだナッツやキャラメルシロップ、ココアパウダーをかけても美味しいと思います。


ほんのりとした栗の香りにますます気分も秋モード☆冬に向けての妄想がますます捗ります♪

〈ゆうこ〉



8月11日～11月10日の間に、たくさんの方々からさちにご協力いただきました。


さわやか豊田のみなさん 佐橋澄雄さん ショウワサウンズのみなさん 杉山順子さん  
細田さん、早川流やぐら太鼓のみなさん、トヨタ自動車下山工場のみなさん、成田さん  
(順不同)



### サポーターさん募集

グループホームさちではサポーターさん（ボランティア）を募集しています。「ボランティアっていうと何か出来ないといけないのでは？」と思う方もみえるかもしれませんが、確かに色んな特技を活かしてボランティアをして下さる方もみえますが、ほんの空いた時間に、入居者の方とお話しをしていただいたり、お茶を飲みがてら一緒に植物の手入れをしたり、ご飯作りを手伝っていただいたり・・・普段の生活にほんの少しのお手伝い（サポート）をしていただけるだけでも大歓迎です。お一人でもお友達同士でお越しいただいてもOK。一緒にこれからの高齢者の生活を考えながら活動しませんか？

<担当：神谷>



### 編集雑記

暑さが過ぎてようやく過ごしやすい季節が来たと思えば、関東を中心に甚大な被害を与えた台風の襲撃。被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。この地域では大きな被害はありませんでしたが、同じような台風がこの地域に直撃していたらと考えると、とても恐ろしく感じました。同じ高齢者施設が水没し、それでも施設長の適切な判断で全員無事に救出された様子には、私も学ぶべきことが多くあると感じました。自分たちのとこだけでなく、地域全体でどう支え合っていくかが今後の課題です。（真理）

発行／株式会社さちコーポレーション

〒471-0067 愛知県豊田市栄生町3-58 ☎0565-35-0805

<http://www.e-sachi.co.jp/>

発行責任者／神谷 幸子

発行日／2019年11月10日（発行予定月 2月5月8月11月）